

地域で活躍する若手農業者



京都市北区上賀茂地域は野菜生産の盛んな地域です。そこで頑張っている2人の若手農業者を紹介します。

八隅真人さん(写真左)は、賀茂ナスやすぐき菜などを生産・販売の傍ら、SNS等を利用して情報発信を行い、また、小学生や保護者などにイチゴやトマトの収穫体験等を定期的に行っておられ、住民とふれあう機会をととても大切にされています。

井本剛史さん(写真右)の農業経営は、周年のトマト生産・販売が柱になっています。トマトは天候によって品質や生産量に影響を受けることが多いため、その都度見きわめて対応を心がけるとともに、鮮度にこだわるなど、消費者の目線に合わせて、安心して買ってもらえるように努力をされています。





# ～普及センターが取り組んだ3年間の活動～



## 経営発展段階に応じた就農者支援

新規就農者が地域で定着していくこと、農業者がさらなる経営発展を実現することを目標に普及活動を行いました。

### ①面談や個別支援による課題解決支援

個別に相談に応じ、就農を希望する人が「自ら進路を決める」、就農準備中の人が「就農できる」、新規に就農した人が「短期目標を達成できる」等、それぞれ次の段階に進むことができました。



指導者と本人に研修状況を確認

### ②農業基礎知識の習得と仲間づくり

新規就農者向けに「農業基礎講座」を開催し、農業技術や経営の講義、先進農家ほ場での現地研修等を行いました。また、交流の機会をもち、新規就農者同士や先輩農業者との「つながり」ができました。



先進農家で現地研修

### ③経営向上のための情報提供、課題解決支援

経営発展を望む農業者に対し関係機関と連携して個別に支援を行ない、「事業活用の提案」「法人化準備のための専門家派遣」「スマート農業の導入」等の支援を行いました。農業者の短期目標が達成でき、経営の向上につながりました。



専門家派遣で会計ソフト活用を学ぶ

## 都市地域における地産地消の展開支援

### ①大原有機の里づくりの支援

左京区大原では、平成30年に「大原やさい研究会」が発足し、会員がエコファーマーになれるよう支援を行い、23名が新たに認定を受けました。また、研究会員を対象に野菜づくりなどについて勉強会を開催しました。



大原やさい研究会現地勉強会

研究会として、他地域の有機農業者との交流会や研究会員同士の交流を行い、仲間づくりができました。さらに、研究会として野菜の新しい販路を開拓することができることも大原有機農業を志向する新規就農者が増えました。

### ②直売等多様な農産物販売の改善に向けた取組

個人で開設する小規模な直売所を対象に講座を開催し、さらなる発展に向けてモデル直売所2戸に対して普及指導員や専門家が訪問し、思いを話していただく機会を設けることでそれぞれの課題や改善策について考えてもらい、直売所内のレイアウト変更やポップの作成、掲示板の活用等に取り組まれるようになりました。



特別栽培米現地検討会

### ③特別栽培米生産を支援

「特別栽培米」を志向する農家の栽培技術に関する理解が深まり、9戸が栽培に取組み、うち7戸が「特別栽培米」として販売することができました。また、現地検討会の開催等により農家同士のつながりが深まり、右京区の農家で特別栽培米生産組合が設立されるなど次年度以降の取組への意識が高まっています。



モデル直売所での個別相談

ロータリー・トレーラー等の作業機を装着・けん引した状態のトラクターが一定の条件を満たした場合に公道走行が可能になりました！

〈条件のチェックポイント〉  灯火器類  作業機の幅  運行速度  運転免許

例えば、大型特殊免許なしで幅1.7m超のロータリー等を装着して道路を走ると無免許運転で免許取消になります。詳しくはホームページをご確認ください。

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/kodosoko.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/kodosoko.html)



あなたの地域から広がる農作業安全

## 地域特産野菜の産地強化

### ①【花菜】根こぶ病対策による花菜の安定生産

花菜生産の連作ほ場における根こぶ病対策として、おとり作物の「コブ減り大根」、「ソルゴー」、「ギニアグラス」を導入し現地検証を行いました。

おとり作物には、土壌中の根こぶ病菌の密度を低減させる効果があることが確認されており、展示ほを設置し、調査結果等を毎年長岡京花菜部会の研修会で報告する等して、生産者の方々と一緒になって普及性について検討を重ねました。その結果、生産者の方が主体的におとり作物を選定し、導入される動きが出てきました。



根こぶ病の発生状況を調査



栽培展示ほでの検討会

### ②【伏見とうがらし】【鷹峯とうがらし】トウガラシの基本技術の励行

右京区京北、西京区大原野の伏見とうがらし生産者、北区大宮の鷹峯とうがらし生産者を対象に、定期巡回や技術情報の発行により適正な管理（土づくり、排水対策、斑点細菌病予防等）が行われるよう支援しました。

特に京北では、JAと連携して生産部会を対象に栽培展示ほの設置、互見会開催等により、高品質なとうがらしの安定生産ができるよう支援しました。その結果、とうがらしの品質も向上し、この3年間で新規生産者が6名増え、部会員同士のSNSを利用した情報交換の輪ができるなど部会活動が活発になりました。

## 調査研究成果

### 『根こぶ病対策と土づくりを兼ねる「おとり作物」の検証』

アブラナ科野菜の連作障害『根こぶ病』防除には、土壌pHの調整、排水改善等のほか、殺菌剤や抵抗性品種を利用します。菌密度が高いほ場で発病する場合には、コブ減り大根等の「おとり作物」を導入して、土中の菌数を減らすことが有効です。

コブ減り大根、ソルゴー、ギニアグラスなどの「おとり作物」を4月以降に播種し、約60日後に鋤き込み、秋からの花菜栽培を行った結果菌密度が減少し、複数の生産者が「常発ほ場でおとり作物を導入したら被害が減った」と効果を実感されました。

おとり作物には、①柔らかく鋤き込みやすい ②生育旺盛で根域も深い ③虫害、鳥害がない ④土づくりと雑草抑制も実現できる等の要件が望まれます。イネ科の飼料作物ギニアグラスはセンチュウ類の密度抑制効果も高い特性があります。これらのことから積極的な土壌管理方法「おとり作物」を栽培体系に組み込まれることをお勧めします。



播種後60日のギニアグラス (2品種を比較)



ギニアグラスの鋤き込み作業

### 賀茂ナスでの青枯病防除のための台木比較

京都市北区上賀茂地域では、賀茂ナスの半促成栽培が行われており、青枯病の防除が課題となっています。対策として、今年度台木品種に「トナシム」を試験導入し、従来の「トルバムビガー」との耐病性や収穫量の比較調査を行いました。

その結果、「トナシム」は青枯病の初発期が遅く、発病率は抑制されました(表)。ただし、「トナシム」は樹勢がやや弱く、収量が若干低い傾向があります。

この欠点を補うため、次作では、若苗定植や施肥、摘花などの管理方法の検討を行います。

表 青枯病初発期、発病率

	青枯病中発ほ場 調査日 (5/18~8/15)		青枯病多発ほ場 調査日 (5/24~8/25)	
	初発病日	発病率	初発病日	発病率
トルバムビガー	5月18日	15.0%	5月24日	44.6%
トナシム	6月29日	0.7%	7月6日	1.0%

農業を適正に使用しましょう



# 地域で大活躍

# 「頼れる農業士さん」

栗津貴司さんは、家族4人（父・母・本人・妻）でブドウの露地栽培を中心に取り組んでおられ、今年で就農15年目を迎えられます。

ブドウの栽培面積は約1haで、シャインマスカット、ピオーネ、藤稔などの大粒系ブドウを栽培され、8～9月に勤修寺の直売所で販売しています。

近年、種なしで皮ごと食べられるシャインマスカットの需要が増加し、直売所に来られるお客さんとの対話を楽しみながら、リピーターを徐々に増やしておられます。

ブドウは消費者からのニーズが高い3色（緑・黒・赤）を揃えるのが難しく、色々なブドウを試行錯誤で栽培しながら、今後の経営戦略を考えておられます。

趣味はDJとダンスで、仲間と一緒にイベントを開催しておられ、来場者に山科の農産物をPRしたいとのこと。今後の活躍が期待されます。

## 栗津 貴司さん（山科区）



## 今年度認定された農業士さん

よろしくお祈りします

<指導農業士>



はた しげまさ  
畑 滋将さん  
(京都市西京区)

<指導農業士>



あけ た はじめ  
明田 肇さん  
(京都市右京区京北)

<指導農業士>



しょう のぶひろ  
庄 延浩さん  
(京都市右京区京北)

<青年農業士>



なかもと ゆうき  
中本 勇気さん  
(京都市北区)

<青年農業士>



ひ の ゆうや  
日野 裕也さん  
(京都市西京区)

## 今年度で退任される農業士さん

大変お世話になりました

- |         |                  |                  |                  |
|---------|------------------|------------------|------------------|
| <指導農業士> | 田中 伸和さん (京都市南区)  | 齋藤 治喜さん (京都市西京区) | 西 正幸さん (京都市右京区)  |
|         | 上野 清美さん (京都市右京区) | 岡本由美子さん (京都市右京区) |                  |
| <青年農業士> | 井本 剛史さん (京都市北区)  | 八隅 真人さん (京都市北区)  | 栗津 貴司さん (京都市山科区) |
|         | 齋藤 圭祐さん (京都市西京区) | 清水 洋人さん (京都市西京区) |                  |

## 令和2年度 農の匠 (京都府農山漁村伝承優秀技能認定) の紹介

### 「大枝の柿生産」

松木 照男さん (京都市西京区)

摘蕾・摘果技術や幹の環状剥皮処理、授粉技術など、地域に新しい技術を先駆けて導入・普及するとともに、高い技術を有し、府内最大の柿産地の確立に貢献してこられました。地域のリーダーとして後進を指導し技術伝承に努めておられます。



### 「こだわり鶏肉・鶏卵の生産」

山田 良介さん (京都市左京区)

ゴマ、チバット岩塩や海藻など十数種類の原料を配合し、独自に飼料を工夫するとともに、平飼い鶏舎により鶏のストレスを軽減。その鶏肉や卵は農場独自の風味があるとされ、有名料理店からも高い評価をされています。



## 京のプレミアム米コンテスト結果

今年度に行われましたコンテストの結果をお知らせします。各賞を受賞されました方々、おめでとうございます。

## 第4回 (令和2年度)

- |    |                          |
|----|--------------------------|
| 金賞 | 木村 貞志さん (コシヒカリ、京都市右京区越畑) |
| 金賞 | 仲上 泰夫さん (ヒノヒカリ、京都市右京区京北) |
| 入賞 | 横谷 一夫さん (コシヒカリ、京都市右京区越畑) |

発行 京都府京都乙訓農業改良普及センター

〒615-0846 京都市右京区西京極徳大寺団子田町15 TEL 075-315-2906 FAX 075-315-2909  
mail : kyoto-nokai@pref.kyoto.lg.jp HP : <http://www.pref.kyoto.jp/kyotootokuni-f/index.html>



QRコード